

鈴木武先生

## 「関西大学でカンサイタンポポを探そう」

2019年4月28日（日）

9：30～12：00

千里山キャンパス

図書館前～野球場～中央グラウンド



◇セイヨウタンポポ花（頭花）：下のななめになる

図書館前、関大歴史的景観モニュメント「予科校舎があった第2学舎」の左奥

カンサイタンポポは2株（雄と雌）の花粉を昆虫が運び、種をつくるのに対して、セイヨウタンポポは花粉がなく、1株で種をつくり、綿毛となって新しい地へ飛んでいく。



図書館から凧風館への図書館側の土手

正門側にセイヨウタンポポがあり、立て看板の奥と土手の上部にカンサイタンポポのコロニーがありました。

環境リレー講義「変貌する風土と生命」（テーマ代表：宮崎ひろ志先生・環境都市工学部）で、鈴木武先生が担当の4月15日（月）「風土のベースとしての生物多様性」授業で、学生に「タンポポ調査西日本2020に参加してみませんか？」を紹介。そして、「関西大学でカンサイタンポポを探そう」を「すいた市民環境会議」の5人（小田忠文会長、武田義明元神戸大学教授、尾方義雄、喜田久美子、高畠耕一郎）と行いました。



◇カンサイタンポポの種

セイヨウタンポポの種とサイズ、数較べをし、顕微鏡で花粉のサイズをみました。

先端科学技術機構前では花粉のあるセイヨウタンポポがありました。

野球場の外周斜面は  
カンサイタンポポ  
1000 株超  
野草の最適地

◇カンサイタンポポがお迎えする  
野球場への入口



◇水路沿いに赤い茎のカンサイタンポポ



◇シロタンポポ  
バックネット裏近くの土手に白色の花を  
咲かせていました。



◇アジュガ（園芸種、和名セイヨウキランソウ）  
飛んできた種が紫色の花を咲かせています。



◇鳴門、徳島地方でみかける  
ナルトサワギク



◇ニワセキショウ（アヤメ科）  
青色と白色の星のように点在していました。

野球場の外周の土手は斜面状で定期的な  
草刈りで日当たりが良く、水はけも良く、  
昆虫にとっても生活条件は良好。



中央グラウンドの周辺草地に広がるカンサイタンポポ  
人が往来する周辺に花（頭花）：下のななめになる、下にそりかえる  
セイヨウタンポポをみかけました。

## 図書館前のセイヨウタンポポ



4月29日(月) 9:15

昨日より冷え込み、曇りで花は身をすぼめていました。



『小學新理科 卷二』 明治時代の高等小学校理科児童用教科書  
 「果実及び種子」の項にタンポポの絵が載っています。

